

# 2019年度 技術講習会のご案内

（「CPDS」および「CPD」認定講習会）

推進工法の今日的技術課題への適正な対応のために

- ・ ライフラインを支える推進工法と特殊事例での活用のポイント
- ・ 地盤の特性と掘削技術
- ・ 推進工事におけるトラブル例と対策（リスクアセスメント手法）

2019年9月

主催 公益社団法人 日本推進技術協会

後援 公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会

## 2019年度 技術講習会のご案内

### 推進工法の今日的技術課題への適正な対応のために

- ・ ライフラインを支える推進工法と特殊事例での活用のポイント
- ・ 地盤の特性と掘削技術
- ・ 推進工事におけるトラブル例と対策（リスクアセスメント手法）

公益社団法人 日本推進技術協会  
会長 中野正明

推進工法が我が国に初めて導入されたのは昭和23年であり、わずか70年あまりの期間で我が国の推進技術は目覚ましい進展を遂げ、今や、世界が注目する高い水準にまで達しています。対象土質は軟弱地盤から粗石、岩盤地質まで、推進距離は1スパン優に1kmを超えるまでになりました。曲線施工ではS字曲線、多曲線、急曲線を可能にし、さらには、推進工法の限界とされた呼び径3000を超える超大口径管推進工法の開発までに至っています。また、坑内の人的作業が一切禁止された呼び径700以下の小口径管推進技術の進展は著しく、施工上の制約を感じさせないほどになっています。

全国の下水道整備において、近年、推進工事の施工実績は年間300~400kmで推移し、幹線管渠整備を中心に主要、かつ、汎用工法として広く活用されています。

今後、推進工法は新規整備地域での効率的な管渠整備に貢献することはもとより、既整備地域内においても、非開削手法の利点と優れた施工性から、合流式下水道改善事業、雨水浸水対策強化事業、さらには、老朽管改築敷設替事業などへの需要が見込まれています。

このように高度に進展した推進技術を社会で適正、的確に活用いただくには、推進工法に関連する皆様に、時宜を得た正しい技術情報をご理解いただくことが重要となります。この趣旨から、本年度の「技術講習会」では、主に、推進工事の発注担当者、設計担当者、施工担当者の方々を対象に、「ライフラインを支える推進工法と特殊事例での活用のポイント」、「地盤の特性と掘削技術」、「推進工事におけるトラブル例と対策（リスクアセスメント手法）」の3テーマを選定し解説することに致しました。

今後の推進技術の適正な活用を目指し、関係各位の積極的な参加を頂きたくご案内申し上げます。

●技術講習会テーマ・講習時間●

テーマ・内容	時間
<p>開講挨拶</p> <p style="text-align: right;">協会本部</p>	<p>10:30 ～10:40</p>
<p><b>ライフラインを支える推進工法と特殊事例での活用のポイント</b></p> <p style="text-align: right;">協会・技術委員</p> <p>推進工法は、非開削技術として下水道分野では小口径管や大口径管を利用した管渠の構築技術として活用される中、下水道以外の分野においても、推進工法の特徴を活かした地下のパイプラインや地下構造物等の建設技術として用いられています。講習会では、電気、通信、ガスなどライフライン事業者における推進工法の取組みや、パイプルーフなど特殊事例から観る推進工法の活用ポイントと今後の期待について紹介いたします。</p>	<p>10:45 ～11:55</p>
<p><b>推進工事におけるトラブル例と対策（リスクアセスメント手法）</b></p> <p style="text-align: right;">協会・技術委員</p> <p>当協会では、推進工事のトラブル防止に役立つよう、これまで発生したトラブル事例を参考に対応すべき方策を提案しています。講習会では、トラブルの発生の原因となる不確定要素に対する、事前もしくは事後対策について、さらに設計段階、施工段階におけるリスクアセスメント手法によるトラブルへの対処方法とその効果について解説いたします。</p>	<p>13:00 ～14:10</p>
<p><b>地盤の特性と掘削技術</b></p> <p style="text-align: right;">協会・技術委員</p> <p>社会基盤整備に伴い都市部での地下利用の頻度は増し、それと比例するように工事の難易度は高くなっています。地下工事のトラブルとしては、地盤条件との関係、施工時の留意点などは十分解明されているとは言えません。また、これらのトラブルには、人為的なものを除けば、地山を構成する地質や土質の特性が影響している場合が多く、これらの情報を事前にかつ的確に把握することが、トラブルの発生を防ぐための基本です。よって、今回の講習会では、過去のトラブル事例を元に地質や土質の特性について解説いたします。</p>	<p>14:20 ～15:30</p>

●開催日時および開催場所、申込締切日●

会 場	日 時	場 所	申込締切日
東京会場	2019年10月24日(木)	家の光会館 新宿区市谷船河原町11	10月17日
福岡会場	2019年10月30日(水)	福岡県中小企業振興センター 福岡市博多区吉塚本町9-15	10月23日
大阪会場	2019年11月8日(金)	新梅田研修センター 大阪市福島区福島6-22-20	11月1日
名古屋会場	2019年11月14日(木)	名古屋国際会議場 名古屋市熱田区熱田西町1-1	11月7日
広島会場	2019年11月19日(火)	広島市文化交流会館 広島市中区加古町3-3	11月12日

※各会場とも定員になり次第、申込みを締め切らせていただきます。

●インターネットでの申込み方法

日本推進技術協会ホームページから申し込みできます。フォーマットに従って申請してください。

●FAXでの申込み方法

1. 「2019年度技術講習会受講申込書・受講票」(別紙)の必要事項を記入して下さい。
2. 郵便局あるいは銀行にて受講料を払い込み、振替払込請求書兼受領証のコピー、またはATM機でお振込みの際に受け取る「ご利用明細票」のコピーを申込書の所定欄に貼付して下さい。
3. 「申込書・受講票」をFAX(FAXできない場合は郵送)にて協会へ送付して下さい。
4. 協会より受付番号を記入した**受講票を開催日の2週間前にFAXで返送します**ので講習会当日必ずご持参ください。

注)1. 「推進工事技士」でお申込みの方は、受講申込書の受講料分類の「推進工事技士有資格者欄」に○印を付け、「推進工事技士登録証・資格者証」のコピーを申込書と共に必ずFAXしてください。

2. お申込み後、申込締切日までに連絡なく講習会を欠席された場合、当日配布したテキスト等は後日送付いたしますが、受講料は返還できませんのでご了承ください。

●お問合せ先

お問合せは下記へお願いします。

〒135-0047 東京都江東区富岡2-11-18

リードシー門前仲町ビル3F

TEL: (03) 5639-9230 FAX (03) 5639-9215

公益社団法人 日本推進技術協会

## <受講料の支払方法>

### ・郵便局の場合

郵便局備付けの「郵便払込取扱票」にて納入して下さい。

払込先

口座番号：00120-6-139483 加入者名「公益社団法人日本推進技術協会」

### ・銀行の場合

振込先 三菱UFJ銀行 虎ノ門中央支店

普通預金 口座番号 3526661 口座名「公益社団法人日本推進技術協会」

### ◆講習会受講料◆

分 類	受 講 料 (税込)
推進工事技士有資格者	1人 7,000円
官公庁	1人 7,000円
当協会会員(正・特別・賛助) 全国上下水道コンサルタント協会会員	1人 7,000円
一 般	1人 14,000円

注) 会員扱いとなるのは、当協会の会員及び会員である団体に加入している会社等の役職員とします。

なお、当協会の会員であるか否かは、当協会ホームページ(<http://www.suisinkyō.or.jp>)の会員名簿でご確認下さい。

また、全国上下水道コンサルタント協会会員については、同協会ホームページの会員名簿でご確認下さい。

### (特別会員)

アート工法協会、アイアンモール協会、アトラス工法協会、アルティミット工法協会、アングルモール協会、EXP工法協会、インパクトモール協会、エースモール工法協会、AH削進協会、SHスーパー工法協会、エンビ・ホリゾン推進協会、オーケーモール協会、ガルブ改築推進工法協会、ケコム協会、コウワ工法技術協会、コスミック工法協会、コマンド工法協会、コンパクトモール工法研究会、CMT工法協会、ジオリッド(エスエスモール工法)協会、スピーダー協会、スリーモール工法協会、超泥水加圧推進協会、超流セミシールド協会、沈設立坑協会、ツウエイ推進工法協会、泥土加圧推進工法協会、デュアルシールド工法協会、ドウカン協会、NUC工法協会、ハイブリッドモール工法協会、ハードロック工法協会、パイパー工法協会、パイプ削進協会、PIT&DRM協会、ヒューム管&ベルスタ推進工法協会、ベビーモール協会、ベル・マイクロ工法協会、ボックス推進工法技術協会、ユニコーン協会、ラムサス工法協会、レボ協会、ロックマン工法協会

### (賛助会員)

(株)アクロス商事、アースナビ推進工法協会、芦森工業(株)、(株)イケダ、(株)ウイングス、ECO SPEED SHIELD 工法協会、SIC Agora eX(株)、SMCプレコンクリート(株)、NTTアクセスサービスシステム研究所、MMホール協会、L・Mole 工法協会、塩化ビニル管・継手協会、(株)大阪ジャッキ製作所、奥村機械製作(株)、カーブモール協会、(株)カナコン、管周混合推進工法協会、管清工業(株)、栗本コンクリート工業(株)、国土開発工業(株)、三和機材(株)、ジオリッド(コブラ工法)協会、静岡県下水道建設技術研究会、(株)シビルソフト開発、ジャット協会、積水化成成品工業(株)、ゼニス羽田(株)、全国Wジョイント管協会、全国非開削普及協議会、全国ヒューム管協会、(株)ソーキ、(株)立花マテリアル、秩父コンクリート工業(株)、東京計器(株)、東京油機工業(株)、東邦地下工機(株)、(株)とがわ商事、ドルフィン工法協会、長野油機(株)、(株)西日本油機、日本スーパーラインパイプ工業会、日本取付管推進研究会、日本ヒューム(株)、日本レジン製品協会、ハイアック工法研究会、パイプキュア工法研究会、ハブマスター協会、ファイアーランス工業(株)、藤村クレスト(株)、ベースホール工法研究会、(株)ホウショウEG、松村石油(株)、山口県管渠推進建設協会、ユニコーン ES 工法研究会、ラサ工業(株)、ラサ商事(株)

# 会場案内図

## ● 東京会場（家の光会館）



・JR 総武線飯田橋駅西口または、地下鉄有楽町線・南北線・東西線・大江戸線飯田橋駅の神楽坂下B3出口より徒歩約5分

## ● 名古屋会場（名古屋国際会議場）



- ・地下鉄名城線名古屋港行きで「日比野」または同線新端橋行きで「西高蔵」下車、徒歩5分
- ・JRまたは名鉄「金山」下車、地下鉄に乗り換え「日比野」または「西高蔵」下車、徒歩5分

## ● 大阪会場（新梅田研修センター）



- ・JR 大阪駅中央北口より徒歩10分
- ・JR 環状線福島駅より徒歩7分
- ・阪急梅田駅茶屋町口より徒歩12分
- ・阪神梅田駅西改札口より徒歩10分
- ・地下鉄四ツ橋線西梅田駅5番出口より徒歩10分
- ・地下鉄谷町線東梅田駅降車専用出口より徒歩12分

● 広島会場（広島市文化交流会館）



- ・ J R 広島駅（山陽新幹線・山陽本線）下車、吉島行バス 25 分、厚生年金会館前下車。または駅よりタクシー 15 分。広島電鉄宇品線市役所前下車徒歩 8 分。

● 福岡会場（福岡県中小企業振興センター）



- ・ J R 博多駅より鹿児島本線、小倉門司港方面 3 分吉塚駅下車、東口より徒歩 1 分
- ・ 天神より地下鉄貝塚方面 5 分、馬出九大病院前下車、3 番出口より徒歩 10 分